広報 にのみや

第226号　発行日10月10日

編集　二宮町広報編集委員会
発行　二宮町企画課　二宮961番地　電話71－3311

町民憲章

1．きまりを守り、良習をはぐくむ
住みよい二宮町をつくりましょう

町民運動場の建設

候補地に中里（貝が窪）地区など

健康保持と体位向上を図る

「健康でありたい」、「もう少し体力がほしい」、「好きなスポーツを思う存分やりたい」ということは誰でもが望むことです。

町では住民の要望にこたえるため、町民運動場設置準備委員会を昭和五十五年十月に発足し、運動場の建設予定地について検討していただきました。

昭和五十六年七月、当準備委員会からの答申をもとに、町長は予定地として九月議会の全員協議会で、中里（貝が窪）地区はいかがかと議員の意見を求めました。

400Mトラック等を計画

野球、サッカーなど各種スポーツの愛好者や、健康づくり、体力づくりのため老若男女を問わず、年々スポーツ人口は増えてきています。

しかし、当町では現在、学校以外広い運動場はありません。

町民が気軽に利用できる運動場を昭和五十五年に計画しました。

設置の必要性

この町民運動場を建設するにあたり次のことに留意しました。

○ 社会体育の発展には日夜競技のできる体育施設の充実が必要であり、このため施設を整備して町民の健康と体位の向上に努める。

○ スポーツ・レクリエーションの場を通してコミュニケーションを深め人間形成づくりを図る。

○ スポーツを通じ町民の体力づくりを推進するとともに各種体育団体、スポーツ・レクリエーション団体の資質向上を図る。

このように町民のみなさんの体力づくり・健康づくりに安心して利用していただき、さらに自然と親しみながらプレイができる体育の場を提供するのがこの運動場です。

施設の内容

町民運動場の設置には都市公園法に基づき運動公園の整備を図ることが普通の手法であり、運動公園としては陸上競技場、テニスコート、バレーボール場、水泳プール、野球場、付属設備（ナイター照明、修景施設、休養施設、休憩所、駐車場、自転車置場）が必要です。

しかし本計画では主要施設のみを設置して各種競技の併用利用を計画しており、計画図（下図）でみられるように四〇〇㍍トラックを設置し、各種陸上競技、野球、サッカーなどはこのトラックと併用する型をとっています。またこの運動場のほかにテニスコート、ゲートボール場、さらに駐車場を設ける計画です。

また将来計画としては屋内体育館の用地確保や付属設備としてナイター照明、用具倉庫などが考えられます。

議会からの主な意見

町長が全員協議会で報告したところ議会より次の意見がありました。

① 駐車場面積は広く確保する。

② 日照及び冬場でのトラック競技に支障のないよう注意する。

③ 優良農地の保護には最善の努力をする。

④ 進入路について周辺の接続道路等を十分考慮し利便を図る。

⑤ 用地確保について地主の意見を十分尊重して借用する。

⑥ 一色（林ノ台）、中里（貝が窪）を現地視察をする。

以上のことでした。

いままでの経過

町民運動場の建設にあたり昭和五十五年十月十七日に町民運動場設置準備委員会を発足。予定地に二宮西中学校建設時の候補地であった中里（貝が窪）地区、一色（西谷戸）地区、一色（打越）地区の三か所と地域住民の要望等により一色（林ノ台）地区を追加して四か所が候補地に上がりました。

候補地の選定にあたっては、①みなさんが利用しやすいところにあること、②必要面積が確保できる場所であること、この二点を主眼とした一二項目の選定基準を設けて現地調査や審議を重ねてきた結果、昭和五十六年七月二十日に候補地を貝が窪地区と林ノ台地区の二か所にしぼりました。

さらに区長会、体育協会関係者、吾妻山自然利用審議会の方々の意見を求めたところ①利便上、町の中央部が最適である、②現在町が進めている吾妻山自然利用施設に隣接しているなどのことから十分その機能を発揮しえることにより、中里（貝が窪）地区を予定地とする意見が多数でありました。

土地所有者のご賛同を

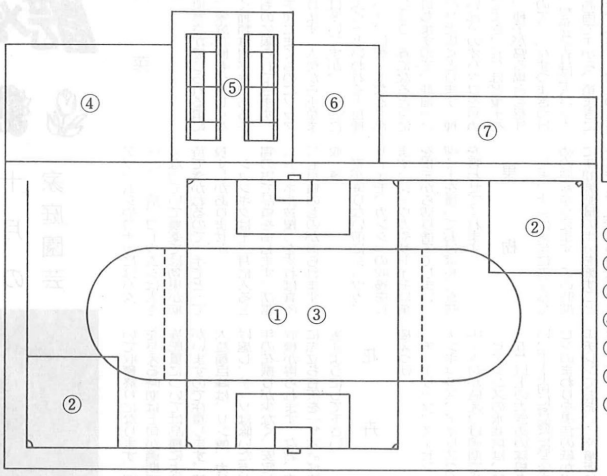
総面積二万平方㍍―二万五千平方メートルを必要とするこの町民運動場は地元の方々の協力なくしては実現させることは困難です。

この町民運動場の整備によりスポーツ、レクリエーションの場とするだけでなく現在二宮中学校で行われている年一度の体育祭をこの運動場で開催することも計画しています。

今後、運動場建設にあたり地主および地元の方々のご協力をお願いします。

これからは広々としたところでスポーツを！

町民運動場計画図（案）



位置図

①400Mトラック
②野球場
③サッカーコート
④屋内運動場
⑤テニスコート
⑥ゲートボール
⑦駐車場

昭和55年度決算

焼却場・橋上駅舎の建設に全力

生活に密着した町づくりに

九月十八日から開催された町議会第三回定例会で、昭和五十五年度の決算が審議されました。

議会には一般会計、特別会計の決算書、説明資料が、池田国次郎善波寅雄両監査委員の意見書とともに提出され、これをもとに議会では決算審査特別委員会（小沢宜男委員長）を設置し慎重な審査を重ね、二十九日の本会議で一般会計の収入済額三五億八三八七万五三〇四円に、じん介焼却場建設事業や老人同居奨励金など各歳出の支出済額三四億四五四九万一八八七円と、その他国民健康保険事業特別会計、農業共済事業特別会計の決算を認定しました。

一般会計

一般会計は歳入・歳出の予算額はともに三四億九五九三万八四〇〇円でしたが、歳入における収入済額は約八八〇〇万円多い三五億八三八七万五三〇四円でした。一方、歳出においては約五千万円少い三四億四五四九万一八八七円でした。

歳入では昭和五十四年度（以下前年度）対比で、地方交付税、繰入金および町債の伸びも大きく、また、町税も順調な伸びを示しました。

歳出では前年度対比で、衛生費の184・9%、土木費の163%の大きな伸びがありました。これは、町民の長年の念願でありました、じん芥焼却場建設事業および最終処分場整備事業費用に約四億五千万円、橋上駅舎建設費用負担金に二億四千万円の事業支出がありました。

また、前年度を大きく下回った教育費においては、小・中学校の建設がほぼ終了したからです。

なお、昭和五十五年度の歳入・歳出は表—1・2、主な事業（五〇〇万円以上）は別掲のとおりです。

自然と調和した施設が完成

表—1　一般会計歳入　（(単位：円)

区分	予算額	収入済額	予算額と収入済額の差額	収入済額の構成比
町税	円 1,507,700,000	円 1,541,995,238	円 34,295,238	% 43.0
地方譲与税	30,000,000	35,074,000	5,074,000	1.0
娯楽施設利用税交付金	13,000,000	13,309,505	309,505	0.4
自動車取得税交付金	41,000,000	44,951,000	3,951,000	1.3
地方交付税	574,210,000	617,618,000	43,408,000	17.2
交通安全対策特別交付金	3,205,000	3,205,000	0	0.1
分担金及び負担金	46,188,000	46,161,650	△ 26,350	1.3
使用料及び手数料	22,271,000	23,007,173	736,173	0.6
国庫支出金	356,571,000	355,749,339	△ 821,661	9.9
県支出金	193,887,000	192,851,264	△ 1,035,736	5.4
財産収入	21,514,000	23,048,501	1,534,501	0.6
寄付金	9,480,000	9,380,000	△ 100,000	0.3
繰入金	75,000,000	75,000,000	0	2.1
繰越金	103,753,400	103,754,070	670	2.9
諸収入	46,559,000	47,170,564	611,564	1.3
町債	451,600,000	451,600,000	0	12.6
合計	3,495,938,400	3,583,875,304	87,936,904	100.0

表—2　一般会計歳出　（単位：円）

区分	予算額	支出済額	残額	支出済額構成比
議会費	円 81,409,000	円 80,949,759	円 459,241	% 2.3
総務費	453,030,000	448,383,744	4,646,256	13.0
民生費	478,002,000	470,613,500	7,388,500	13.7
衛生費	714,631,000	701,284,647	13,346,353	20.4
農林水産業費	118,814,000	117,816,709	997,291	3.4
商工費	39,750,000	39,338,586	411,414	1.1
土木費	597,969,000	596,390,803	1,578,197	17.3
消防費	177,303,000	171,002,064	6,300,936	5.0
教育費	646,965,400	639,548,623	7,416,777	18.6
災害復旧費	235,000	58,000	177,000	0.0
公債費	180,587,000	180,105,452	481,548	5.2
予備費	7,243,000	0	7,243,000	0.0
合計	3,495,938,400	3,445,491,887	50,446,513	100.0

国民健康保険事業特別会計

町国民健康保険事業特別会計は、予算額の歳入、歳出とも五億四〇六五万八〇〇〇円でしたが、歳入における収入済額は約一八〇〇万円多い五億五八六二万七一五八円で、支出済額は約一九〇〇万円少い五億二一二四万二一七九円でした。

歳入では国から入る国庫支出金と国保に加入されている方から納めていただく国民健康保険税で、全体の92・6%を占めています。

一方、歳出ではお医者さんに支払う治療費や助産費の補助などで、全体の96・7%を占めています。

（単位：円）

区分	予算額	歳入	歳出
一般会計	円 3,495,938,400	円 3,583,875,304	円 3,445,491,887
国民健康保険特別会計	540,658,000	558,627,158	521,242,179
農業共済事業特別会計	6,812,000	6,692,564	6,337,829

農業共済事業特別会計

町農業共済事業特別会計は、家畜共済、農作物共済、果樹共済および業務の四勘定からなっています。

予算額は歳入、歳出とも六八一万二〇〇〇円(四勘定合計)で収入済額は六六九万二五六四円(同)支出済額は六三三万七八二九円(同)でした。

歳入の多くは加入者からの掛金や保険金で、歳出は乳牛の疾病、死廃、米やみかんの減収時に支払われた共済金です。

六案件を審議

定例会では決算のほかに、六案件が上程され審議がされました。

主なものに、仮称山西プール・町立図書館改修工事の請負契約や固定資産評価審査委員会委員の選任、一般会計補正予算の承認などでした。

主な事業（特別会計を含む5,000千円以上）単位：千円

事業	千円	事業	千円
議会活動及び委員会活動	55,282	商工振興事業	22,512
納税奨励表彰式	10,028	観光事業	7,053
戸籍住民基本台帳事務	27,893	角兵衛川管渠新設工事	8,500
心身障害者医療費助成事業	6,886	町道223号線(釜野)改良工事	12,300
社会福祉センター施設管理事業	12,437	町道66号線(中里宮の前)改良工事	8,000
敬老年金	17,137	町道38線(入川匂)改良工事	6,550
富士見が丘老人憩の家建築事業	20,872	町道45号線(谷戸地内)改良工事	66,600
高齢者医療費助成事業	7,191	町道7号線(海岸通り)舗装補修工事	6,530
老人医療費助成事業	75,133	町道32号線(釜野～中里)改良工事	20,230
保育所措置	119,961	防災行政無線(子局)増設工事	5,389
保育所運営	45,484	備蓄倉庫敷地造成工事及び建築工事	10,680
児童手当	31,220	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	5,448
予防接種事業	8,461		
じん介焼却場建設事業	378,310	一色小学校視聴覚備品購入事業	8,509
最終処分場整備事業，	75,240	小学校教材備品購入	13,634
じん介収集車購入事業	5,555	二宮中学校給食施設改修工事	36,630
宮山農道改良事業	29,841	二宮西中学校体育館新設工事	127,115
団体営農道整備事業	18,558	私立幼稚園就園奨励費補助事業	11,636
漁船漁業近代化施設設置事業	13,134	私立幼稚園就園費補助事業	5,820

街に緑と公園を

十月一日から都市緑化月間

都市における緑豊かな生活環境を確保するためには、都市公園等の公的な緑地の整備を積極的に進め、さらに地域の方々、各関係団体の自主的な参加と協力によって総合的な都市緑化を推進することです。

いことです。みなさんも一人ひとりがこの運動を機会にもう一度考えてみませんか。

っております。

なお、寄付金については、所得税及び法人税の課税対象から控除されることになっています。

問合せ　大磯警察署（警務係）（☎72－〇〇一一）

犯罪の被害者

ール

余

ん

加し、その被害の大半を子どもとお年寄りが占めています。

町では子どもの交通安全意識の高揚を図るために、交通安全ポスター

優秀　柾木弥兵衛　二宮小五年
〃　野呂　光輝　山西小六年
優良　塚本　毅　山西小五年
〃　和田　倫　山西小六年

園芸　十月の家庭園芸

野菜

種まき

朝夕肌寒さが感じられる頃になると、家庭菜園もや淋しくなり、まく種類は耐寒性のある冬越しのものに限られてきます。

十月下旬にまくものにソラマメがあります。大粒から小粒まで品種は多いですが、一般的に「おたふく」といわれる大粒種（陵西一寸、仁徳一寸など）がよいでしょう。春になると急に大きく育ちますので、畦幅一㍍株間三〇㌢と広くとります。種子は黒い部分のオハグロを斜め下にしてまき、五㌢ほど覆土をします。種子が腐る場合も意外に多いので、二粒ずつまきつけます。一粒発芽すれば十分です。種子が高価ですから、箱まきにしておき、本葉三～四枚のころ畑に移植するのも一法です。

ホウレンソウは中旬までにまくと年内どりができますが、下旬になると翌春どりになり、十月中がまきどきです。

アトラスは育てやすく、豊葉は良質、いずれも好適品種です。

アブラムシやコナガにはパダン一〇〇〇倍、ヨトウムシは大きくなっていて農薬では効果が期待できかねるので、手でとって殺すしかありません。

シュンギクは十二月に入ると霜の害で品質を損ねます。防霜（トンネル被覆）をすれば真冬でも良質のものが得られます。

収穫

霜が降りない前にショウガ、サトイモ、カンショの収穫をします。ショウガやサトイモは葉を根元から切り捨ててしまい、深く土を覆っておけば長く食膳を賑わせてくれます。

果樹

モモ、ナシは来年に備えるための肥料を与えます。この時期に年間施肥量の半分を施すことを目安に、堆肥等の有機質を充分に入れ地力を高めます。

また、ナシは上旬に殺菌剤と殺虫剤を混用（トップジン一〇〇〇倍、スミチオン水和剤八〇〇倍、展着剤加用）を散布しておきます。

下旬から早生のカキ、ミカン

いて収穫終りになります。肥料を与える時期は上旬が適期です。施肥量については品種によりちがいますので注意します。特に大粒種巨峰は、リン酸、カリだけ施し、チッソは除いた方が来年の花振りが少なく、安定した収穫が得られます。なお、施肥に先立ち石灰を一㌃六㌔位い施すようにして下さい。

花卉

植えつけ

チューリップ、スイセン、ラナンキュラス、アイリスなどは中～下旬が植えつけ適期です。

ヒアシンスの水栽培は、球周一五㌢以上の大きめの球根を用い、中～下旬に容器に植えます。ビンのまわりを黒色の紙かポリエチレンでおおい、冷暗所に置きます。

九月に種まきしたパンジー、ディジー、ハボタンなどは中～下旬に花壇に定植します。

ボタンの移しかえや植えつけの適用で根をできるだけいためないように扱かいましょう。

管理

奥さん町の物価ご存じ？

生活物資価格調表

（二宮町　9月分）

No.	品目	量目規格	スーパー 最高	スーパー 普通	スーパー 最低	小売店 最高	小売店 普通	小売店 最底	平均	前月平均(=100)に対する指数
1	灯油	18ℓ 配達料込み	— 円	— 円	— 円	円 1,615	円 1,540	円 1,430	円 1,544	99.7
2	洗済 合成洗済	2.65kg入り	990	902	782	965	896	780	887	98.3
2	洗済 粉石けん	3.0kg入り	910	860	774	916	872	744	850	104.3
3	トイレットペーパー	65m 4ロール（1枚巻き）	194	165	148	186	169	145	171	103.0
4	砂糖	上白1kg	298	283	268	295	280	260	282	99.3
5	しょうゆ	1ℓパック入り	344	282	250	333	271	209	274	103.8
6	小麦粉	薄力粉1kg	212	190	178	199	188	175	192	99.5
7	サラダ油	700gパック入り	401	334	283	398	342	289	335	105.0
8	豚肉	肩ロース100g	190	172	153	198	175	150	175	100.6
9	鶏卵	M1パック10個入り	245	219	194	253	223	185	225	104.2
10	プロパンガス	10㎥	—	—	—	4,990	4,728	4,418	4,776	101.3

このため国をはじめ県市町村では都市の緑化、都市公園、街路樹等の整備保全を促進します。また住民の方々による緑豊かな街づくりを推進するため広くみなさんのご理解とご協力が必要です。官民一体となって事業を推進するため、十月一日から十月三十一日までの一か月間を「都市緑化月間」と定めて都市緑化および都市公園保全美化運動を中心として緑の愛護運動を展開していきます。

この運動は全国統一テーマに「都市に緑と公園を」、また「安全と健康は緑の街から」をサブテーマとして、住民の緑化意識を図り、都市緑化を推進していきます。

「緑豊かなまち」これはすばらし

に救援の手を

通り魔犯罪や爆弾事件などの凶悪犯罪により、ある日突然あなたの家族を失ったとしたら…

今日、犯罪の被害に遭い、不慮の死を遂げたり、重障害を受ける人は、年々増え続けています。

親や保護者を失って犯罪被害遺児となり、その多くが経済的理由により就学援助を必要としている実情を考え、これらの遺児たちの就学についてなんらかの援助を行うために「財団法人、犯罪被害救援基金」を設立しました。

この事業を末永く安定したものにするため、みなさんからの浄財を募

交通安全ポスターコンクー
応募作品が三千
最優秀に石井さん、阿部さ

交通安全はみなさん一人ひとりの願いです。しかし今日、交通量の増加にともない交通事故件数は年々増

のコンクールを行いました。

このコンクールは町内の三小学校の児童を対象に行ったもので、三、一九九人からの応募があり、応募作品は第一次（学校単位）と第二次（町長、警察署長ほか交通安全関係者単位）の二つの審査を受けました。

これに見事に入賞した児童は次のとおりです。（敬称略）

第一部（一〜三年）
最優秀 阿部 光香 山西小二年
優　秀 藤原 美紀 一色小一年
〃 西村 良之 二宮小二年
優　良 松木 裕子 二宮小一年
〃 青砥 正典 山西小三年
〃 西尾 大輔 山西小二年

第二部（四〜六年）
最優秀 石井 鮮太 山西小四年

〃 掛江 浩之 一色小六年

なお入賞者は十月二十四日に行われる町民総ぐるみ交通安全推進大会のときに表彰します。

石井さんの作品（高学年）

阿部さんの作品（低学年）

ふるさとまつりに参加を！
みなさん一人ひとりが主役

秋は文化、スポーツ……といろいろな諸行事が活発に行われる季節です。

先の九月三十日には畜産共進会（農林水産まつり・第一部）、十月四日には地域総ぐるみの体育祭が行われ、秋の諸行事のピークに達しました。

さらに町では文化祭をはじめとして農林水産まつり、町民総ぐるみ交通安全推進大会、福祉のつどい、自治功労・善行表彰式などをみなさんの参加によって、文化のかおる町に築き上げていくために展開していきます。

みなさんおさそいあわせのうえご参加ください。

盛大な文化祭を

町には文学、美術、芸術など愛好家の助成を図る文化団体連盟があり、四二団体、二八〇〇人以上の方々が加入され、それぞれの分野で活躍し、コミュニケーションの輪を広め、町全体の教養と文化の向上に貢献しています。

これらの方々が一年を通して活発に活動してこられた成果は、十月二十五日（日）に行われる「民俗芸能のつどい」を皮切りに、十一月十五日の「ジョイントコンサート」までいろいろとくり広げられます。

その他美術展、写真展、手芸展など楽しい行事が予定されています。

この文化祭をみなさんの手で盛り上げていくために、ご近所おさそいのうえご参加ください。

なお開催内容など、くわしいことは教育委員会発行のプログラムをご覧ください。

今年もみなさんの手で盛り上げましょう

福祉のつどい

このつどいは十月二十三日（金）から二十五日（日）までの三日間にわたり社会福祉センターで行われるもので、地域のみなさん一人ひとりが助け合いの心を大切にすることを目的としています。

開催の期間中、各種パネルを展示するほか、小・中学校、婦人会、老人クラブなどの福祉団体の活動作品の展示もあり、二十四日は社会福祉大会、二十五日には福祉バザーやおしるこ店、薄茶席、老人慰安激励大会などが行われます。

みなさんで地域社会の福祉の向上を図っていきましょう。

農林水産まつり

十月二十四日（土）と二十五日（日）、公民館で行われるこの行事も年々盛大になり、多くの入場者でにぎわい今回も町でとれた新鮮な農作物や水産物の一般公開と直売を二十四日午後一時〜午後四時、二十五日午前九時〜午後四時まで行います。

またミカンやシジミのつかみ取りもありますので、ご近所おさそいあわせのうえおでかけください。

プログラムをご覧ください。

町民総ぐるみ交通安全推進大会

町では町民の交通安全を願い、徹底を図るとともに、みなさん一人ひとりが連帯し、交通事故防止の決意を新たにしていただき、また地域住民の安全のために地道な活動をされてこられた方々の労をねぎらうため町民総ぐるみ交通安全推進大会をみなさんとともに開催します。

この大会は十月二十四日（土）、午後一時三十分から二宮小学校校庭で行われ、会場までは各幼・保育園の鼓笛隊をはじめ、各種団体、地域住民等によるパレードがあり、交通安全を呼びかけます。みなさんもご参加ください。

プログラムは別に配布します。

自治功労・善行表彰式

十一月三日、文化の日に社会福祉センターで行われるこの表彰式は、永年にわたり町政の発展に寄与された功績が顕著であった方、また町の産業・教育・福祉・文化などの各分野においてその向上に努められ業績があった方、さらに町の財政に多大な協力をされた方々などに対し表彰するものです。

「おいしかったしぼりたての牛乳」
畜産共進会終る

九月三十日には中里西地区日鉱団地の入口で畜産共進会（農林水産まつり・第一部）が行われました。

この日、乳牛の体格・能力が競われたほか、しぼりたての牛乳の試飲もあり、「おいしい」、「しぼりたての牛乳ははじめて」などたいへんな好評を得ていました。

優秀賞に輝いた乳牛出品者は次のとおりでした。（敬称略）

○育成牛一類 橘川仁蔵（一色）
○ 〃 二類 井上修二（〃）
○ 〃 四類 秋沢福松（〃）
○経産牛一類 関口照隆（〃）
○ 〃 〃 井上修二（〃）
○ 〃 二類 井上良光（〃）
○ 〃 三類 野谷 博（川匂）

なお、育成牛三類においては優秀賞の該当はありませんでした。

管理

ダイコン、ハクサイの追肥と害虫防除をします。追肥は十月中旬に、三・三平方㍍当たり化成肥料を二〇〇㌘程度施します。病害虫対策としては、ベト病にダイセン水和剤八〇〇倍、

の収穫が始まります。十分に着色してから収穫しましょう。

早生ミカンは中生よりも不完全な着色をしますので、五分以上着色したところをひとつの目安にします。

ブドウも特に晩生のものを除

サツキは大切なつぼみを害虫に喰害されないように、スミチオン一〇〇〇倍液などを散布しておきます。樹型づくりのための針金かけもこの時期に行ないます。

（県園芸試験場）

名所・旧跡めぐり
(22) 東京大学農学部 二宮果樹園

二宮駅のほぼ真北一五〇〇メートル、町のほぼ中央中里地区に、東大二宮果樹園があります。

敷地面積約四ヘクタール（一万二千坪）のこの施設は、大正十四年に設置決定、第一回の敷地購入以後三回にわたり隣接地を買収拡張し現在に至っています。目的は文字通り、東京大学農学部の学生の研究施設です。

主な事業内容は、カキ、クリ、ナシ、ブドウ、モモ、ミカン類などの栽培試験ですが、特に昭和のはじめ頃までは、内外のいろいろな品種を集めて栽培していましたが、現在ではほとんど無くなってしまいました。また取扱範囲も現在は果樹専門ですが、かつては野菜、庭園花卉なども扱っており、その名ごりと思われる庭木も残っています。

この地はもと第十五銀行の頭取をしていた、園田男爵の別荘でしたが、大正十二年の関東大震災によって園田さんがなくなられ、たまたま東大が探していた農場用地として、当時神奈川県園芸試験場の場長をしていた富樫常治氏の推薦により、二年後の大正十四年に開設されることになりました。現在でも当時の庭木と思われる樹木が残っています。その他めずらしい樹木として、樹齢四十年程のメタセコイアがあります。この木は生きた化石と言われる木で、果樹園の門を入るとすぐ右側にある円錐形に伸びた背の高い木です。

場内には、昔、海の底であった証拠として、貝殻を含んだ地層が露出しており、近くには貝殻板とよばれるところもあり興味をひきます。

さらにこのあたりには、横穴古墳も数多く見られたのですが厚木・小田原バイパスの建設工事のために、大部分が破壊されてしまいました。

果樹研究の発展に

住民の声

河川をきれいに

二宮一、二七三番地　佐野　フミ（67歳）

私が二宮町にきましたのが昭和十二年ですからもう四十四年たちます。この間、社会福祉センター、役場庁舎、西中学校、武道館、焼却場が建設、駅南口広場も整備され非常に便利になってきています。そして今日橋上駅舎化工事が進められており町は大きな発展をとげてきていると思います。

ところで私達をとり囲む自然環境について一言。

以前、魚をみかけたり川遊びや洗濯もできました葛川は、いまでは昔の面影をみることができません。

これは近年の宅地化により各家庭からの雑排水が河川に流入したり、ゴミの不法投棄によって河川が汚染されているからでしょう。

口に出す前に私たち一人ひとりが注意して河川に愛着をもちきれいにしていきましょう。

安心できる北口広場に

富士見が丘二—9—31番地　土屋　和幸（47歳）

ひょんな機会から長寿の里二宮に居を構え、はや五年になります。転居当時は、ちらりほらりだった我が富士見が丘二丁目も街なみらしくなってきました。

町の人口も年々ふえ、我が町の玄関、二宮南北駅前広場も朝夕のラッシュ時には大変な混雑となります。しかし、南口広場の整備も終り、橋上駅舎の工事にも着手されました。北口広場の改良も計画されており、近い将来整備されることと思いますが、現在の混雑はひどく、バス、タクシーとともに、一刻も早く迎えるマイカーの数も多くなり、狭い広場がますます狭くなり歩行者はうろうろする有り様です。

交通区分、規制を守り、譲りあい、無駄な駐車をさけて、歩行者が安心できる広場でありたいと願います。

「町健康体操」を披露

町民健康の日と体育祭で

町では九月四日を「町民健康の日」と定め平塚保健所共催により、みなさんの健康づくりのお手伝いをしました。

「町民健康の日」は今年で二回目をむかえ、社会福祉センターと役場駐車場を会場に、献血車、胃のレントゲン車、子宮ガン検診車、幼児歯科検診車などを総動員して行いました。各検診車にはみなさん「健康づくりは自ら」の認識のもとに多くの方々が検診を受けていました。

「日常生活と成人病」をテーマとした講演会、基礎体力の測定、コンピューターによる体力診断、保健・栄養指導なども行われ、みなさん真剣にとりくみ自分の健康状態、体力を認識しました。

またキッチンカーによる減塩食の調理実演もあり主婦の方々に人気がありました。

当日、誰もが日常生活で自ら体を動かすことを習慣づけ疲労回復と健康づくりに役立ててもらおうと「二宮町健康体操」も行われました。

この「二宮町健康体操」は町健康かながわ普及員のみなさんの手でつくられたもので、町民歌のメロディに乗せて、背すじを伸ばす運動から目を休ませる運動、手首ふり・かけ足運動、からだの前後屈伸運動、腰たたき運動、深呼吸までの一六の運動を組合せた子どもでも簡単にできる軽い体操です。

この体操を町全体に普及させるために十月四日の町体育祭でも行われました。

みなさんもこの体操を家庭、学校、職場などにとり入れて健康づくりに努めましょう。

元気な姿で敬老会に出席

元気なお年寄りのお顔を拝見するのはうれしいものです。

九月十五日（敬老の日）、午後一時から二宮小学校体育館を会場に敬老会が約六〇〇名のお年寄りを招待して行われ、みなさん元気な姿で出席をされました。

この日、第一部・式典と第二部・演芸に分かれ、式典では最高齢者の武政亀高さん（百歳）への記念品贈呈、ダイヤモンド婚式（結婚六十年の祝い）一組、金婚式（結婚五十年の祝い）二二組をお祝いしたほか、片岡千明ちゃん（二宮小四年）の敬老作文の朗読などが行われました。

第二部の演芸では二宮愛児園の園児による遊戯、婦人会およびレクリエーション協会のみなさんによる舞踊、広沢虎造さんの浪曲、香川染千代・染団子さんの漫才などがあり、最後まで会場はお年寄りの笑顔でいっぱいでした。

年一回のこの敬老会は、知人と会う機会の少ないお年寄りにとっては再会の場ともなり、お互いに声をかけあい終始みなさん楽しんでいました。

またボランティア、地区の婦人会のみなさんが敬老会にかけつけ、お年寄りへ手をさしのべるなど、ほほえましい光景もみられました。ボランティア、地区婦人会のみなさんごくろうさまでした。

団体・個人とも上位独占

自転車の安全な乗り方競技会

九月二十六日大磯警察署において「自転車の安全な乗り方競技大会」が開催され、二宮・大磯両町から十チーム、四〇人が参加しました。

この大会は大磯警察署管内の小学生を対象としたもので、秋の全国交通安全運動の一環として、大磯地区交通安全協会と自転車の安全な乗り方推進委員会の主催で、各地域で活動している自転車交通安全クラブ員のもとに交通に関する興味と関心を高め、交通事故防止を図る目的で開催しました。

競技は実技と筆記試験が行われ、この結果、当町関係では団体・個人の部とも上位を独占しました。

上位入賞は次のとおりです。

団体の部

優勝　元町北チーム　二宮町
二位　元町南チーム　〃
三位　西小磯西チーム　大磯町

個人の部

優勝　三浦弘之　グリーンチーム
二位　神田尚則　百合丘西チーム
三位　大東克司　元町北チーム

なお、団体の部で優勝した元町北チームは、明年春実施される県大会へ出場します。

ご存知ですか

検察審査会

「さぎ・おとし・交通事故」などの被害者で、それを警察や検察庁に訴えたが犯人を裁判にかけてくれないので不審に思っている方はいませんか。そういう方は泣き寝入りしないで検察審査会にご相談ください。

費用は一切かからず、秘密も守られます。

この制度についての問合せは、小田原裁判所内小田原検察審査会事務局（電話〇四六五―22―六一八六）

私立幼稚園で園児を募集

町内の私立幼稚園では、来年度の園児を募集します。

入園希望者は、各幼稚園に直接お問合せください。

○入園案内書の配布　十月十五日以降
○受付開始　十一月一日以降

新郵便年金を発売しました

急速に到来する高齢化社会に対処するため、国の施策において豊かな老後の生活設計づくりの一環として、郵政省では去る九月一日より新郵便年金を発売いたしました。加入希望者は、郵便局で加入手続きをしてください。

問合せ　二宮郵便局

ゴミ収集日の変更

十月二十一日（水）二十二日（木）は、清掃職員の研修会のためゴミ・し尿の収集業務を臨時休業します。なお、二十一日分を二十三日に、二十二日分を二十四日に変更収集いたします。ゴミは絶対に出さないでください。

休業日	変更収集日	対象地区 毎日出るゴミ	空カン類	ビン・ガラス類
21日（水）	23日（金）	梅沢・越地・茶屋（国道の南側）通川旬、南新道、上町、中町、谷戸、妙見、北新道の一部、富士見が丘、百合が丘２丁目公社、百合が丘３丁目	梅沢・茶屋（国道の北側）　越地（国道の北側から東海道本線の南側）	下町４　原田　妙見（峰岸山の一部）
22日（木）	24日（土）	梅沢・越地・茶屋（国道の北側）、釜野、入川旬、中里、一色、原田、下町、北新道の一部、中里県営、百合が丘１丁目、百合が丘２丁目分譲	北新道　通川旬	梅沢　越地　茶屋（国道の南側）

おしらせ

善意

二宮町善意銀行へ

金一〇万円　百合が丘　八田　秀さん
金六万円　小田原市　普朋会教団
金二万三九六〇円　富士見が丘　寿老園関係有志
金五〇〇〇円　富士見が丘　帰山悦子さん
金三〇〇〇円　百合が丘　上野茂敏さん
物品　中里　小島　孝さん

防災講演会

地震災害について日頃から関心を持っている人は多いと思います。このたび二宮町危険物安全協会では、防災講演会を開催します。

とき　十月二十二日（木）十四時～十六時
ところ　社会福祉センター大ホール
講師　国立防災科学技術センター、都司嘉宣氏

読書感想文を募集します

町図書館では第六回読書感想文の募集を次のとおり行いますのでみなさんふるって応募してください。

募集内容
◎あらゆる本の読書感想文
◎最初にであった本、最近読んだ本、印象に残った本等について
◎私の読書法と読書論
◎その他、テーマは自由
◎図書館活動に関する意見等

字数・枚数
◎四〇〇字詰の原稿用紙三～五枚以内（小学生は三枚以内）
黒インクか黒のボールペンを使用

締切　昭和五十七年一月十一日（月）

老人健康診査（一般診査）…

❶実施期間　十月十三日（火）～十月三十日（金）但し十・日・月曜日は除く。
❷対象　九月一日現在で、六十五歳以上の方には通知（住民登録をしている方）します。
❸費用　無料
❹その他　町内の医療機関で受診してください。
❺問合せ　町福祉課（内線二四一）

潜在保母等を調査しています

現在、保母、看護婦、保健婦、栄養士、セラピスト、指導員（児童指導員、生活指導員、職業指導員）、教護、教母、寮母、調理員及び介護員の免許を有している方で、無職または社会福祉施設以外の業務にたずさわっているが、将来社会福祉施設に従事希望の方を調査しています。

この調査は県内の社会福祉施設の業務に従事していただく職員の確保対策の一環として行われるもので、対象になられる方は町福祉課へご連絡ください。

日時　十月二十六日まで
連絡先　町福祉課（内線二四四）

就学前の教育相談

町教育委員会では、来年度小学校へ入学するお子さんで、心身に障害のあるお子さんの教育相談を行います。

とき　十月一日～十一月三十日
ところ　町教育委員会
対象　五十年四月二日～五十一年四月一日生まれの子
問合せ　町教育委員会（内線三三八）

青年教室を開催

日頃交流の少ない青年が、趣味を通じて親睦をはかり、仲間づくりをするために青年教室を開催します。

とき　十一月十三日、二十日、二十七日、十二月四日、十一日、十八日の毎週金曜日、十八時三十分～二十時三十分
ところ　社会福祉センター
内容
○ギター教室　講師　磯部盛治
○ダンス教室　〃　伊藤栄一
　　〃　伊東和子
○イラスト教室　〃　石塚賢三郎
対象　町内在住、在勤の方
定員　各教室共二十五名
申込み　町教育委員会（内線三三五）

内職相談について

刺しゅう、ハンカチーフの手巻き、ミシン関係及びギフト用品の組立等の内職相談を次のとおり行っております。お気軽にご相談下さい。

とき　十月二十三日、三十日（金）、九時～十七時まで
ところ　社会福祉センター相談室
問合せ　社会福祉センター相談室（☎73―〇二九四）

二宮郵便局で臨時出張所を開設

二宮町文化祭の開催に伴い二宮郵便局区内の住民の方々と、郵便局とのつながり及び理解を深めていただくために、二宮郵便局臨時出張所を開設します。

名称　二宮町文化祭記念二宮郵便局臨時出張所
とき　十一月三日（火）午前十時～午後二時
ところ　町公民館
内容
○小型記念通信日付印の使用
○風景印、日付印押印サービス
○通帳切手、葉書の販売
○記念台紙の配布

今月の納期

町・県民税　第3期

10月31日まで

編集室

○この広報は十月九日企画課を発送しました。
○「広報にのみや」へのご意見は企画課へお寄せください。

町の人口（人口統計より）

	9月1日現在	前月との比較
人口総数	27,729人	＋10人
男	13,682人	＋5人
女	14,047人	＋5人
世帯数	7,817世帯	△9世帯